

特講・福祉心理学18 (人間関係におけるケアと暴力)			科目コード	FT2618
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
1	S (講義)	1 年以上	相馬 敏彦	

※この科目は9/14・15の仙台会場のスクーリング受講が必須です。受講希望者は8/21までに履修登録とスクーリングの申込みが必要です。

■スクーリングで学んでほしいこと

この講義では、恋人や配偶者といった親密な間柄で生じる暴力の生起プロセスを理解すると共に、そこに関わる「関係性の心理」の特徴を考えます。また、家族を超えたケア関係の中で生じる暴力の特徴にも触れることで、親密な関係における暴力との共通性について議論し、予防に向けた展開を考えます。

■到達目標

- 1) 親密な関係で生じる暴力の特徴を説明できる。
- 2) 暴力の背景にある被害者や加害者の心理プロセスを説明できる。
- 3) ケアする関係にみられる暴力のエスカレートの共通性を説明できる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	DVの現状	DVの定義と実状、エスカレートする暴力
2	ケアをめぐる心理学	ソーシャル・サポート、親密な関係の特異性
3	なぜDVが生起しエスカレートするか①	加害の生じやすさ、攻撃特性の影響
4	なぜDVが生起しエスカレートするか②	被害の潜在化
5	親密な関係の特徴	コミットメントをキープする心理メカニズム
6	DVを抑制するにはどうすればよいか	一次予防の視点と可能性、第三者の働き
7	ケア・ワーカーへの暴力との共通性	訪問看護の現場で生じる暴力、ケア関係に潜む暴力の生じやすさ
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

配布資料をもとにパワーポイントを使用し、(進捗に応じて) 途中ビデオなども見ながら講義を進めます。

■スクーリング評価の基準

スクーリング試験100% (自筆のノートのみ可)。

試験では、とくに到達目標記載内容についての理解を問います。

■スクーリング時の教科書

スクーリングにあたって、教科書は使用しません。

■スクーリング事前学習 (学習時間の目安: 5~10時間)

講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

■スクーリング事後学習 (学習時間の目安: 20~25時間)

講義内容を踏まえて、どうすれば関係の中で生じる暴力を社会的抑制できるかを考えてみてください。

■卒業までに身につけてほしい力との関連

心理実践力を身につけるため、とくに、「総合的な人間理解力」、「根拠に基づく情報発信力」、「集団理解に基づく対人調整力」を身につけてほしい。